

第1回学校運営協議会 意見の記録

熟議①学校経営計画（「学校の強み・弱み」「経営ビジョン5つの柱」）を聞いての感想・意見
熟議②学校の課題を改善するために、自分ならどんなことができそうか

今回の学校運営協議会では、3つの部会に分かれて上記2つの「熟議」を行いました。2つの「熟議」を行う上で各部から出された意見を「記録」としてまとめています。

また、今年度も行う「プラスワン」事業のアイデアとして利用できそうなものについても意見をまとめております。ご自身の取組の参考になさってください。

上記の経緯により、昨年度まで公開されていた「議事録」の形式から「記録」の形式に変更させていただきましたことを了承ください。

【学校評価部会】第1回記録

・学校も人が足りない、時間が足りない状況があるだろう。やらないことを決めていくことも大切だと思う。

・教員採用試験の倍率も（岡山県特別支援教育枠）3倍を切っている。教員になりたいという人材を育てていきたい。

・授業づくりは進んでいると思うが、自己評価が大切だ。自分の強みや弱みを理解することも大切だと思う。

・先輩から後輩へ（授業力を）伝えていくことが少なくなっている。伝えたくても伝える時間が無い、教えてほしくても先輩はいつも忙しそうで聞けないという良くない循環がある。

・ボランティアをしたい学生はいるが、学生も忙しく、一日中あいていることは少ない。「午前だけボランティア」「午後だけボランティア」と考えるとアクセスの問題は大きい。

・「授業づくりに熱心な先生」と「学びたい学生」をつなげることは大切だ。

・昨年度同様委員による授業参観は計画していただきたい。「先生の様子」「児童生徒の様子」を知らずに、この会で発言するのは内容が適切かどうか分からなくなる。

・保護者にも、通常の我が子を見るだけの参観日ではなく、たとえば小学部の保護者に中高の様子を見てもらえば、我が子の将来像を思い描ける場になると思う。そんな取り組みも良いと思う。

・学年通信は、写真と予定だけになりがち。単元が始まるときだけでも、「ねらい」や「教師の意図」を保護者に伝えるのは大切だと思う。そのことが、保護者の信頼を増す機会になると思う。